

かんご
れんめい大分

平成19年1月15日発行

第38号

大分県看護連盟メールアドレス
E-mail: oita-kanren@extra.ocn.ne.jp

発行所：大分県看護連盟 大分市寿町2-6 大分県看護研修センター内 TEL 097-537-1335
発行人：永瀬フミエ 編集者：広報委員会 印刷所：(株)インタープリント TEL 097-568-8123



九重「夢」大吊橋

目次



新年のごあいさつ	2～3P
研修会報告	4P
松原まなみさんのごあいさつ	5P
松原まなみ先生 県内を走る！！	6～9P
研修会のお知らせ 入会のおさそい 編集後記	10P

新年のごあいさつ



大分県看護連盟 会長
永瀬フミエ

「看護職の力を結集しよう！」

新年明けましておめでとうございます。2007年、いよいよ看護協会・看護連盟にとって、その力量を問われる厳しい年の幕明けとなりました。

平成18年度看護協会総会で、次期参院選候補予定者に「松原まなみ」さんを代表として推せんされました。看護連盟はこれを決定し全力で受け止め、「松原まなみ」さん共々全国を廻り、施設訪問や講演会で、「こんな現実を変えていきたい」と切々と訴え乍ら、運動を展開中であります。

一方看護連盟は、リフォームして早や1.5年が経過、組織を改正して各県に支部を作り、支部長他役員と施設連絡員との連携を密にし乍ら、「アンフィニA」会員の獲得に力を入れてきました。看護と政治が強く結びついていることを理解し、連盟活動に自ら参加し、そして家族、知人にも支援を得られる人を協力者に広げる運動をすすめる努力を重ねております。

いよいよ参院選本番を迎える訳ですが、看護職がどれだけの力を発揮して政治に参画できるか、結果次第では、今後の看護職の力量を問われることになり社会的評価にもつながります。

私共は、前回の轍を踏まぬ様に、他力本願ではなく、会員一人一人の力で勝利を勝ちとろうではありませんか。皆様方のやる気にかかっていることを肝に銘じて頑張りましょう。

「新年のごあいさつ」

大分県看護連盟の皆様、明けましておめでとうございます。

新年のわれわれ連盟会員の抱負は、今年の参議院議員選挙で、松原まなみさんが勝利することが第一であると思います。また、リホーム連盟の成果を見る年でもありますから、目標得票数を超えるような高い得票を得たいということでしょう。そして更に、われわれの代表である国会議員が皆様の労に報いるような活動をして下さることです。看護界の願いである看護教育の4年制化が前に進み、めどが付けられるようにとも願っています。

そのために今現在行うことは、リホーム連盟の組織強化活動が浸透することでしょう。皆が選挙に関心を持ち、一人一人の連盟会員が、連盟会員以外の人を両手に連れて必ず選挙に行くという行動が取れるようにと連盟は願っています。選挙に関心を持って貰うためには、私達が次期参議院選挙で松原まなみを何故立てるかを説明しましょう。教育の4年制化では、保助看法改正を国会に提出せねばならぬことや、問題の多い保助看法を改正しなければ我々の身分が低いままであること等説明し、議員を持つ必要性を説いて下さい。

松原まなみさんの得票数が看護職者の政治力を端的に示すものであり、それが社会からの看護職者の政治力評価になるのです。

リホーム連盟によって皆で頑張った評価が、今年の参議院議員選挙で下されることになります。お互いに体に気をつけて頑張り、良い年に致しましょう。



日本看護連盟 会長
見藤 隆子



大分県看護協会 会長
古賀 和枝

「新年のごあいさつ」

大分県看護連盟会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。

皆様には良い年を迎えられましたこととお慶び申し上げます。昨年を振り返りますと、めまぐるしく変化した1年だったと思います。4月の診療報酬改定において12年ぶりに看護配置基準の引き上げが行われました。これに伴い、採用が難しい施設もあるように聞いておりますが、私たちの就業環境を良くするために評価できるものであったと思います。

今後は、いかに看護者として誇りを持って働く人材を育成するか、またどうすれば魅力ある病院となり、働きたいと言う病院にするかが私たちに課せられた問題だと思えます。もうひとつの大きな課題として、看護師の基礎教育の年限については、平成18年度日本看護協会通常総会で、3つの国家資格を維持し看護師の基礎教育の年限を4年以上とすることが決議されました。そのことを踏まえ、6月21日には厚生労働大臣、文部科学大臣に要望書が提出されました。今私たちは、「看護基礎教育が4年以上になった場合」の課題について検討しています。

私は、このように看護と政治が強く結びついていることを理解し、日本看護連盟の活動に参加したいと思っています。私たちの社会、特に看護職の就業環境を良くするためには、私たちの意見を反映させてくれる代表者が必要であり、それが選挙だと認識しています。今後自分出来ることをやりたいと思っています。

今年は、看護職にとって組織の力が問われる時でもあります。連盟では、リフォームされた各支部が中心となり組織が動き始めました。スローガンにあるように「ヘッドサイドから政治を変える」それは、地域が政治を変えるといえるのかもしれませんが。会員一人ひとりにとって、すばらしい年になりますように祈念して新年のあいさつといたします。

新年のごあいさつ



参議院議員

清水 嘉与子

「新年のごあいさつ」

明けましておめでとうございます。

昨年は小泉総理の改革路線を引き継いで誕生した安倍総理が、就任早々の訪中・訪韓で硬直していた関係を修復され、また長年の懸案だった教育基本法を改正させるなど目に見える成果を挙げられました。安倍総理には、支持率の報道に一喜一憂することなく、自信を持って日本国の舵取りをお願いしましょう。

いよいよ人口減少時代に入り、社会保障制度全般の見直し作業もスピードを増して進められています。看護職にとっては医療施設内ではもちろんのこと、福祉施設や地域における需要も拡大傾向が続くものと思われます。一方において、安心・安全の医療・看護、一人ひとりの状況に合わせた医療・看護に対する人々の要請も高まります。その期待に応えるためにためまぬ資質の向上に努める必要があります。人口減少時代に貴重な存在となる看護職が、育児をしながらでも働き続けることができるような環境づくりも急がれます。

昨年は別府・湯布院で開催された看護連盟研修会に参加して、各支部の前向きな取り組みと会員の熱意を直接実感させていただきました。その上、美しい由布岳の姿・街のたたずまいに心を洗われる思いもしました。今年の夏には看護連盟組織の真価が問われる選挙が行われます。私としては、何としてでも松原まなみさんにバトンタッチしたいという思いで一杯です。大分県会員の皆様のご活躍を大いに期待しております。

「新年のごあいさつ」

新年あけましておめでとうございます。

昨年中は、皆様方のあたたかいご支援を給わり、有難く感謝申し上げます。

今年は亥年・年女となり益々活発に努力して参りたいと思います。

“六度目の亥年のめぐりて新たな願いの成就に努力するのみ”

昨年最後の第165回国会では、厚生労働委員会や教育基本法に関する特別委員会等に於いて質問の機会を得る事が出来ました。特別委員会では、いじめや教育委員会等の4項目に関する集中審議でした。改正法案には、前法に加え、家庭や幼児期の教育、並びに、家庭・学校・地域住民等との連携協力についての規定も定められており、これらに関する事や学校における子供・担任教員・家庭を結ぶ役割をする養護教諭の役割とその活動にふれ伊吹文科大臣にその重要性等を質問しました。

また、防衛庁を防衛省とし、その長を防衛大臣とする法案と共に、永い間懸案となっていたこの2法案も成立をみました。

12月7・8日、モンゴル政府保健省の主催で議員、日本国市橋大使、UNFPA・WHO代表と助産師（各地区より130名）によるモンゴル第一回助産師協会を設立する事ができ、思いもかけず、グランタイ保健大臣より「モンゴル国保健名誉賞」としてメダルと証書を給わり感激でした。今年も元気で夏の陣にも一生懸命頑張ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



参議院議員

南野 知恵子



衆議院議員

あべ 俊子

「新年のごあいさつ」

新年あけましておめでとうございます。

大分県看護連盟の皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。いつもあべ俊子の国政活動にあたたかいご支援・ご指導を賜りまして、この場をお借りして心より御礼申し上げます。

9月に安倍晋三新内閣が発足し、9月26日から12月15日まで81日間にわたり第165回（臨時）国会が開催されました。この臨時国会では、前国会から積み残された教育基本法改正法案や臓器移植法改正案、感染症法改正案など多くの法案を抱え、あべは前年度に引き続き文部科学委員として審議に参加しました。特に、臓器移植法改正案（B案）については、公明党の斉藤鉄夫先生らと共に提案者の一人として、衆議院法制局との打合せや議員を対象とした勉強会の開催など、この案の審議入りに備えて準備を重ねてまいりました。

皆さま方がこの原稿をお読みになる頃には、これらの法案について何らかの方向性が出されているものと期待しております。

おかげさまで衆議院議員も2年目を迎えることとなりました。これからも引き続き現場主義をつらぬき、直接皆さまからのお声を聞かせていただくため視察と対話を重ねていく所存でございます。看護の現場の皆さまからは今後とも率直なご意見をお寄せいただければ幸いに存じます。

本年も初心を忘れず、すべての人々が安心して暮らせる医療福祉・社会保障の確立、多くの看護問題の改善・解決のために引き続き全力で取り組んでまいります。

研修会報告

会員研修Ⅰ「ベッドサイドにおける新人ナースの役割」 ～現場の声を伝えることの大切さ～

受講者：医療法人清栄会 清瀬病院 大石恵理子

今回の研修を受けこれまで看護連盟の目的や活動を知らず、いかに私が政治に無関心であったかと言う事に気づかされました。安全で質の高い看護を提供するという理念のもと、看護連盟より送り出された諸先輩方の数々の尽力により、今の私達が専門職として学べ、地位や待遇が保護されている事を知りました。看護を提供する場を見直し、教育を受けた看護者を現場に配置する事で、患者様が安心して治療を受けられる事、また看護者自身の労働条件が改善される事等、今日まで数多くの取組みがなされています。しかし、教育・配置基準・医療事故対策等、改善を要求する声が日々臨床現場より届いています。日頃多くの時間を患者様の傍らで看護にあたる私達新人ナースに出来る事は、個々の感性を失わず現場の声を送り続ける事です。これからの看護の発展を願い、より良い看護を提供するにはどうしたらよいのかを常に考え行動していきたいと思います。

受講者：明和記念病院 曾我育世

看護師になり4年目の私ですが、今まで、看護師は患者様や家族にどうあるべき、どう接するべきか、またどの様な看護師を目指すかなど考えた事はあった。でも、看護師として自分達自身で労働条件を変え、世間に認めてもらうなど実際に考えた事はありませんでした。日々病院という組織の中の一員として仕事をさせてもらっていますが、慣れるにつれ不満に思う事も正直ありました。「しょうがない・こういうものだ」と深く考える事無くただ日々の仕事に没頭する毎日でした。

しかし、そこで諦めてしまうのではなく、何を考え何を不満に思うのか、看護職一人ひとりが口に出して主張する事で、今後の看護師の未来に大きく影響を与え、私達自身仕事が楽しくやり易くなるのだと学びました。また、そうする事で患者様にもより良い看護を提供出来るのではないかと考えます。看護師として、社会の一員として、思いを伝える事は簡単な事ではないけれど、出来る限りの事をやっていきたいなと思います。

10月21日（土）

ソレイユにて/65名出席

講師：松本明子先生（前日本看護連盟幹事長）



会員研修Ⅱ「これから求められる中間管理者の役割」

受講者：アルメイダ病院 佐藤朋子

私は今年の4月より副主任として辞令を受け勤務している。管理職としてどのような役割で組織の一員として勤務すべきなのか？日々考え職務についている。まだ日も浅いため手探り状態が正直な気持ちである。今回の研修テーマ「これから求められる中間管理者の役割」に対してはかなり興味深く感じ参加した。

現在、勤務する病棟は師長が不在である。今まで経験したことの無い、予想もしなかった問題が発生し、自問自答しながら、一日一日を過ぎている。今が自分の試練でもあり今回の学習したことを生かす時でもある。

永池先生の講演を聞き、今後の自分の役割が日々の勤務の中で良い環境作りをし、共に考え、行動する副主任を目指し、自分への課題とすることにする。

受講者：野口病院 荻本真代

私自身の病院での役割、また看護職としての役割を考えるヒントを得たいという思いがあり、研修に参加しました。永池先生の講演の中で、「管理者に求められることは、世の中の流れの中にどのような役割を見いだせるかということである」という言葉がありました。心に残り、そのためには私たち看護職の問題と課題に日頃から目を向け、見極める力を持たなければならないと考えました。

私たちの問題と課題を、社会問題と捉えようと、看護師個人ではなく、政策、施策の問題が関わっていることがわかります。看護連盟は現場の声から、それらを取り上げ、より社会に貢献できる看護職の役割を見いだすために活動を行っているということを再認識しました。現場の声を届ける一人として、今回の研修を活かしていきたいと思います。

10月28日（土）

商工会館にて/78名出席

講師：永池京子先生

（前日本看護連盟常任幹事）（日本看護協会常任理事）



第21回 参議院議員選挙候補予定者

松原まなみさんのごあいさつ



大分県看護連盟の皆様、新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

私、松原まなみは、今夏の参議院選に挑戦するため、現在、各都道府県の皆様のもとへ研修会を兼ねましてご挨拶に伺っております。大分県には昨年8月下旬にお伺いしました。約50施設を訪問させていただき、研修時も含めると約850人の方々にお会いできました。研修や施設訪問では、会員の皆様から「看護の生の声」をお聞きすることができ、充実した時間を過ごすことができました。心より感謝申し上げます。

さて、看護の問題に目を向けますと、看護基礎教育4年制化や卒後研修制度化などの教育問題、離職防止や潜在看護職の再就職支援などのマンパワーの確保、地域医療の崩壊に対するシステムの再構築と、看護に期待される役割は拡大していくと思われます。このような早急に解決すべき問題に正面から取り組み、現場の声を国政の場に届け、看護の発展に貢献できるよう日々、精進する所存でございます。

今年はいろいろな新しい業務が加わり、多忙を極めることになりそうですが、参院選には必ず勝利する決意で全力を注いでまいります。本年も皆様にとって素晴らしい年となりますよう祈念いたしております。

大分県には本年5月上旬に「1000人集会」で再度、お伺いできる予定です。

皆様にお目にかかれるのを楽しみにしております。



皆で成功させよう！！

“松原まなみ 総決起大会（1000人集会）” ～音の泉ホールに結集～
2007年5月5日/16：30～18：00

平成18年度都道府県別研修会及び会議

平成18年11月23日（木）

Iichiko総合文化センターにて 43名出席

本部より日本看護連盟幹事長 石田昌宏氏と常任幹事の阿津公子氏が来県された。ビデオ放映「ルールを知って、安心して活動しよう」後パワーポイントを使って石田幹事長の講義と質疑応答が行われた。選挙運動の3要素の使い方、実際に活動する為の細かなアドバイスと実例を話して下さった。阿津常任幹事は自己紹介の中で、今年39年間勤めていた国立病院を退職した。現職中は関心が無かったが、人は納得すれば楽しく仕事出来るものだ。今は頑張って飛び回っている。と心境を語られ、参加した支部役員達は安心して今後の活動に取り組めると意を強くした。

「ルールを知って、安心して活動しよう」日野病院 西川都喜子

11月23日、石田昌宏先生の「政治活動と選挙運動」について研修会があり由布地区支部より4名参加させていただきました。

研修会では知らなかった事ばかり、特に連座制では、本部・県・支部の役員や事務局が選挙違反をしない。当選が無効になることのないように気をつけなければならないと学んだ。

また支部の広報担当を任されており「参院選挙に是非お願いします」と書くつもり矢先だったからです。“知らない”と言う事、これ程恐ろしいことは無い。この研修会に参加して本当に良かったと強く思いました。ありがとうございました。



松原まなみ先生 県内を走る！

写真集



臼津・佐伯地区 支部長 高野洋美

新年おめでとうございます

松原まなみ氏の県内施設挨拶回り、第1日目8月23日（水）の午前中、保健師・看護師の方はもとより、病院長・事務長・他職種の方々とお会い出来ましたことの感謝と「若くて、素敵ですね」との声に更なる支援と「アンフィニA」の徹底をお願い致します。



竹田・豊後大野地区 支部長 加峰マチ子

昨年8月23日竹田・豊後大野地区へ「松原まなみ先生」を迎え各施設の訪問をして頂きました。看護職にとって「松原まなみ先生」を理解する意義ある機会となりました。今後、会員はじめOB会、看護職関係者全員が、団結勝利に向けて確実に頑張らしましょう。



豊後高田・宇佐・中津地区

支部長 高橋京子

松原まなみ先生の講演テーマが「時機を得た内容で、参加者の共感をよび職場での課題を再認識した研修会でした。私達の代弁者として是非、“松原まなみ氏”を国政の場へとの応援ムードに満たされました。確実なアンフィニア活動を継続して目標達成したいです。

豊後高田・宇佐・中津地区支部研修会

(会場) 新博多町交流センター
(演題) 「医療連携で安心治療」
～シームレスケアの促進～



玖珠・日田地区支部

支部長 古賀ゆかり

訪問日：8月28日（月） 訪問場所：7施設9医療関係機関
松原先生は連日のハードスケジュールにも関わらず、笑顔で熱い思いを語って下さいました。訪問先の皆様から頂いた応援が松原先生のさらなるパワーアップにつながるよう、今後も支援していきたいと思っています。ご協力をお願いいたします。



大分地区

支部長 式田公枝

8月28日（月）に「松原まなみ氏」は大分市で、2時間30分の間に8施設を訪問されました。朝の忙しい時間だったのですが、合計151名の看護師はじめ他職種の方が温かく迎えてくださり、「松原まなみ氏」の熱気のある話を聞いて頂きました。



由布地区

支部長 立川タヨ子

良く聞いて下さった松原まなみ先生
支部ができて初めての選挙でもあり、また“松原まなみ”というフレッシュもあり、当市では、どこの病院の看護師・保健師・保育園の方々も本当に良く集まって応援してくださいました。先生の笑顔と現場の意見を聴こうとする姿勢にとっても好感が持てました。



別府地区

支部長 板屋文恵

新年あけましておめでとうございます。
昨年8月29日“松原まなみ候補予定者”の、施設訪問に際しましては看護職を始め、院長及び事務長より励ましの言葉を頂きました。看護職代表、松原まなみ氏への応援者が増え続ける事を願うばかりです。施設の皆様の健康を願い、日頃のご協力に深く感謝致します。



国東・杵築・日出地区

支部長 高橋多佳子

松原まなみ氏に同行して
当支部には、突然の大雨の中を延着し時間を気にしながら、一人でも多くの会員との「出会い」を願って、各施設での滞在時間が延び最後は大慌ての有様でした。
あわただしい「出会い」ではありましたが、同じ目標に向かってお互いに仲間意識と連帯感を強くしたと確信しています。



研修会のお知らせ

研 修 会	予 定 日	会 場	講 師 及 び 内 容
看護協会・ 看護連盟合同研修	平成19年 3月3日(土) 13:30～15:30	看護研修センター 3F大ホール	日本看護協会第2副会長 草間朋子先生 「看護職の自律をめざした看護教育のあり方」
施設代表者並びに 施設連絡員会議	3月17日(土) 13:30～15:00	看護研修センター	日本看護連盟幹事 鈴木正子先生 「参院選挙に向けて、政治活動と個人の役割」
	15:10～16:30	*講演会終了後 グループワークをいたします。	

アンフィニア



∞→二つの丸は、政治と看護が
無限大に結びつく事

A→アクション



平成19年度 入会のご案内

看護連盟は看護協会と共に歩んでいます

私達はなぜ、国会に 代表を送るのか?!

私達の望む看護の実践のため。

ベッドサイドから政治を変える

ベッドサイドの声こそが看護の向上と国民の健康に大きく寄与します

一生仕事を続けて行くために。



会 費

本部会費 5,000円

支部会費 2,500円

計 7,500円

*賛助会員会費/1000円
(連盟の主旨に賛同いただける方)



入会しましょう
お待ちしております。

編 集 後 記

新年あけましておめでとうございます。
表紙は、今話題の九重「夢」大吊橋です。
夢が実現出来るよう、松原まなみさんを皆様の手で国会へ
送りましょう。
直接彼女の人柄に触れる事ができた、真夏の県内施設訪問・
研修会の写真を載せました。
連盟会員の皆様の夢もかなえられる良い年になりますよう
祈念いたします。

〈広報委員一同〉

くなくたふとんを新しくしませんか!

長年使ったふとんは、人間の汗・脂等が
付着し損傷も進んでいます。

リフレッシュシステム

- ★①お申込み
- ★②洗浄・殺菌・抗菌処理・乾燥
- ★③かくはん・新羽毛追加
- ★④創生地取り替え
- ★⑤充填仕上げ

お問い合わせは



日本看護連盟推薦 自治体・県職員生協指定 警察互防会指定
株式会社 **イッシー**
〒870-0867 大分県大分市1丁目17番地の2
TEL (097) 549-6233 (代) FAX (097) 549-6237
フリーダイヤル 0120-339-222

